団体名	プレーパーク船橋		
事業名	長津川プレーパーク～ロープワークをマスターして遊び場を手作りしよう！～	種別	Ⅰ型(1年目)

課題

・自然の中で子どもたちがのびのび遊べる場所が減少している
・子育てに不安・孤独を感じている保護者が多い
・少子高齢化により地域のつながりの希薄化している

事業内容・目的

長津川プレーパーク～ロープワークをマスターして遊び場を手作りしよう！～

【目的:遊び場づくりのきっかけ及びプレーパークの活動を体験してもらう】

☑ いつ？
1日目　令和3年11月28日(日)
2日目　12月12日(日)

☑ どこで？　長津川親水公園

☑ 何を？
・1日目…ロープワーク講座
・2日目…実践編プレーパーク

☑ 講師は？　濱宇津　朋彦氏(ツリークライミングジャパン認定ツリークライマー)、中島　良介氏(千葉県冒険遊び場ネットワーク所属のプレイワーカー)

☑ 参加者は？
・1日目…小学生以上の49名
・2日目…誰でも参加可で123名

事業費(A)	84,580円
事業収入	0円

支援金(B)	67,664円
事業費に占める支援率(B/A)	80%

事業費内訳(単位:円)

1	講師謝礼	45,000	3	チラシ印刷	1,780
2	プレーパーク用のロープや紐	30,770	4	参加者用保険	7,030
				1～4　合計(A)	84,580

効果

・地域でともに育ち合うコミュニティづくりの一助となった
・子どもたちが、のびのびと過ごせる野外の遊び場の良さを共有出来た
・参加者が主体的に場作りに関わるきっかけが作れた

工夫したこと

日頃の遊び場で「自分でロープ遊具を作ってみたい！」という声が多かったので、参加者がロープの結び方や遊具の作り方を身につけられるロープワーク講座と、学んだことを実際のプレーパークの中で活かしながらロープ以外の遊びも楽しめる実践編プレーパークの2日構成にしました。

遊び場でのリスクとハザードや子ども主体の遊びについても紹介し、重大な危険を避けつつ子どもたちがやってみたいことに自由に挑戦できる場、参加者ひとりひとりが主役のみんなで作る地域の遊び場であることを周知しました。

担当者より

ロープワーク講座に参加した方が2日目のプレーパークにいらして、「自分でこんな遊具が作れるんだ！」「工夫していろいろやってみるとおもしろいね！」と夢中になって遊んでいる様子が印象的でした。普段の遊び場ではなかなか伝えきれないことをお話しできたのも良かったです。コロナ禍の中でも、密を避けて対面で交流できる野外の遊び場の良さを伝えることもできました。

講師によるデモンストレーション(1日目)

ブランコ作りに挑戦する親子(1日目)

参加者が作ったクモの巣ロープ(2日目)

スタッフと子どもたちで作ったはしご(2日目)

手作りのブランコを満喫する子どもたち(2日目)

団体概要

子どもたちが自然の中でやりたい遊びに挑戦できる冒険遊び場「プレーパーク」を毎月第 2 日曜日に、未就園児向けのプチプレーパークを月 2～3 回平日の午前中に開催しています。

主な活動場所は長津川親水公園と大神保青少年キャンプ場で、毎回多くの親子で賑わっています。大人も子どものびのびと安心して過ごせる場であることを心がけ、遊び場が地域コミュニティとして多くの人の居場所となるよう活動に取り組んでいます。

問合わせ先	氏名:　南山 聡子　e-mail:　funabashi.playpark@gmail.com